

受領 令和6年11月27日 8時47分

通告番号 (12) 1/2

令和6年11月27日

読谷村議会  
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員  
神谷 嘉栄 印

## 一般質問通告書

第540回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>1 大規模な自然災害発生時における対処策について</p> <p>(1) 災害救助法の適用についての説明を、詳細に求める。</p> <p>(2) 現在、避難の受け入れ先となっている村内施設を伺う。</p> <p>(3) 国は、公立小中学校の体育館への冷房設備について、2分の1を補助するとのことだが、例えば、避難所として使用する際、今年の夏場のような猛暑を想定した場合、村当局の見解を求める。</p> <p>(4) (3)の補助については、武道場へも適用されるのか。</p> <p>(5) あくまでも万が一を想定してではあるが、災害廃棄物を受け入れる置場については、どのように考えているか。</p>	
<p>2 県は、「去った9月に『政策提案トライ&amp;チャレンジ』と称し、若手職員が、よりよい県政の実現を目指して考案した事業や制度を、知事に直接プレゼンテーションした。」とのことである。</p> <p>(1) 同様な、あるいは似たような事例について、本村においても、これまで行ったことがあるか。または現在、行なっているのか伺う。</p> <p>(2) もし、行ったことがなかった場合、人材育成の観点から、今後の計画性も含めて、当局の考えを伺う。</p>	
<p>3 村立小中学校における地域特性の授業について</p> <p>(1) 児童生徒が読谷村の歴史や産業などに関することの学びの機会はあるか。もし、あるのならばどのような内容か。</p> <p>(2) 中城村の「ごさまる科」について、知り得る範囲で内容説明を求める</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>4 幕末における黒船来航は教科書で知る由となったが、後に、読谷まつりが始まるきっかけとなった旧歴史民俗資料館にて、ガラス越しに展示された「ペリー提督日本遠征記」に描かれた喜名番所の挿絵を観た瞬間、衝撃を受けたのと同時に郷土を誇りにも思った。その復刻版が2003年に発刊されたようだが、村内関係施設に所蔵されているか。また、今年は琉米修好条約を締結して170年となることから再発刊されたようだが、学校図書館等への蔵書とする考えはないか。</p>	
<p>5 「第50回 読谷まつり」と「100万人の平和コンサート in よみたん」について</p> <p>(1) 10月25日のコンサートと26・27日のまつり、3日間の来場者数を日にち毎に伺う。</p> <p>(2) 3日間を総括しての所見を伺う。</p> <p>(3) 51年目へ向け、新たなる船出として、現段階での新規プランニングもあるか。</p>	
<p>6 去った10月27日は、読谷まつりと衆院選の投開票が同日となった。役場職員の人員配置だが、投開票場についてはひとつの集計として、まつり会場との双方の人数を伺う。</p>	